

ACCENT.



目次

前歯(若年歯)築盛 03

Cervical Accent	04
White Accent	06
Mamelon Accent	08
Internal Accent	10
Opal Accent	12
Enamel	14
Internal Orange Accent	16
Finished Goods	18

臼歯(若年歯)築盛 21

Internal Accent	22
Enamel	24
Occlusal-Enamel Accent	26
White Accent	27
Finished Goods	28

前歯(老年歯)築盛 31

Cut Back	35
Internal Accent	36
Dentine Shape	38
Opal Translucent	40
Opal 1	41
SPRING OUT Stain	43
飴色グラデーション	44
Finished Goods	46

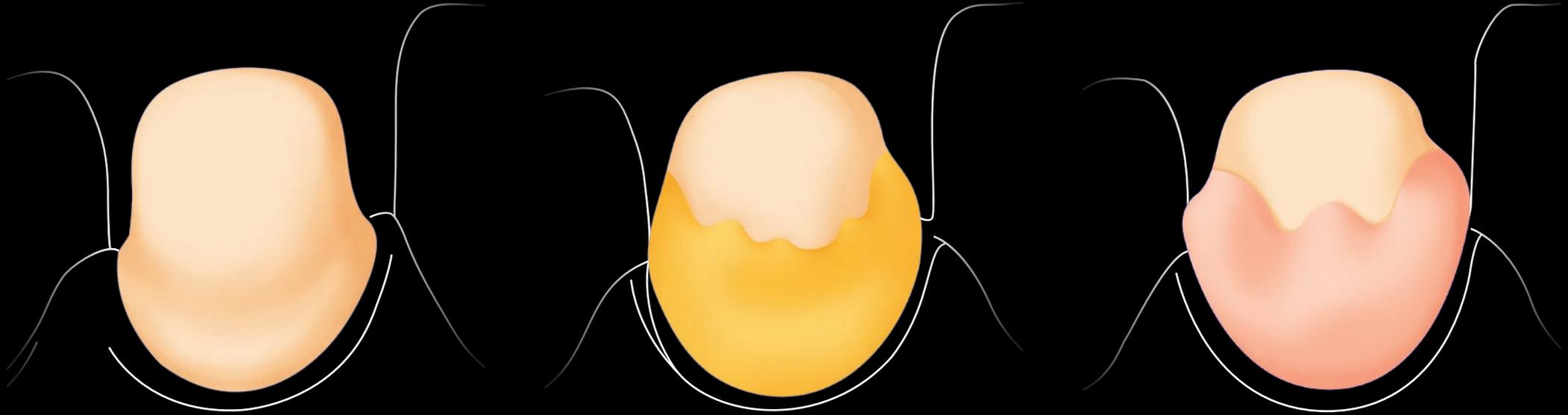
このカタログの写真中で使用している全ての陶材粉末は、
部位の識別のために特別な着色を施しています。



ACCENT.

ACCENT.

STEP.1



■ Opaque

■ Opaque
■ Opaque Dentine

■ Opaque
■ T-Salmon

STEP.1



Cervical Accent

STEP.1 Opaque Dentine築盛後、T-Salmonを築盛した状態

- ・ Opaque Dentineは、築盛が薄くなる歯頸部付近のオパーク色の浮上りを防ぎ、薄い層でデンティン色の彩度が得られます。
- ・ T-Salmonは、歯頸部付近の透明感のあるピンク系の色調表現に使用します。

混合法

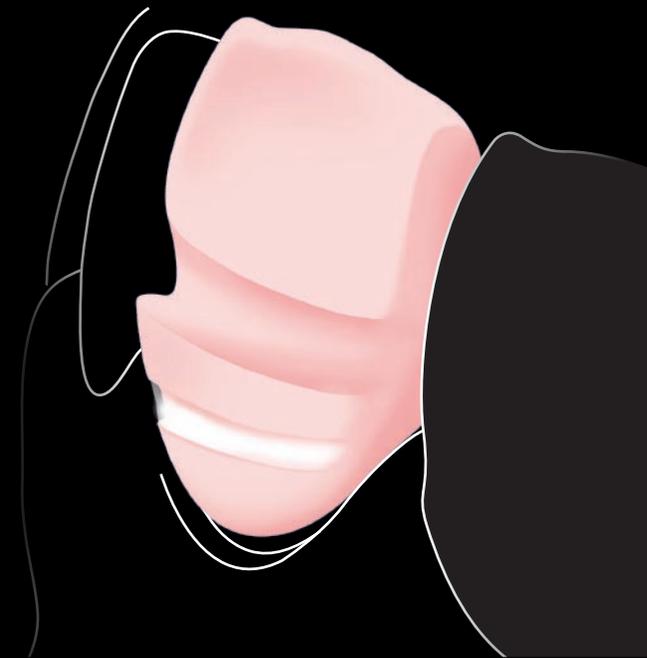
- ・ 歯頸部付近の厚みが十分に確保できない症例では、Opaque DentineとT-Salmonを混合(3:1)して使用してください。

複層法

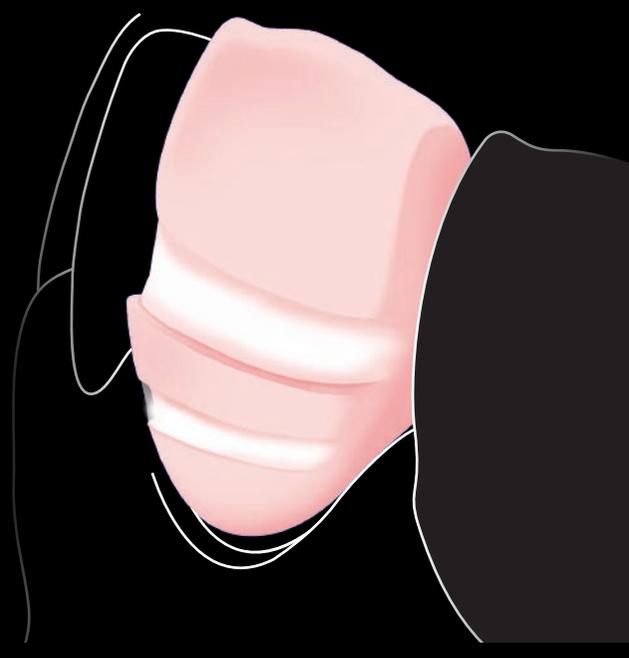
- ・ 歯頸部付近の厚みが十分な症例では、Opaque DentineとT-Salmonを2層築盛してください。

ACCENT.

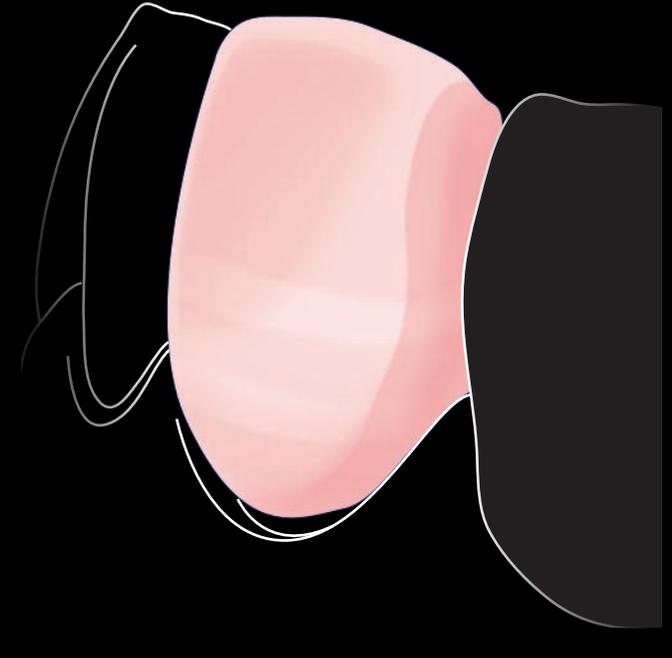
STEP.2



 Dentine
 Snow White



 Dentine
 Snow White



 Dentine
 Snow White

STEP.2



白帯:1本目



白帯:2本目

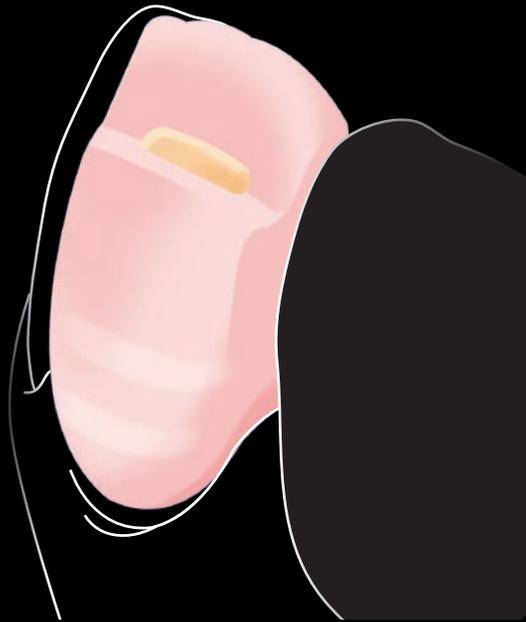
White Accent

STEP.2

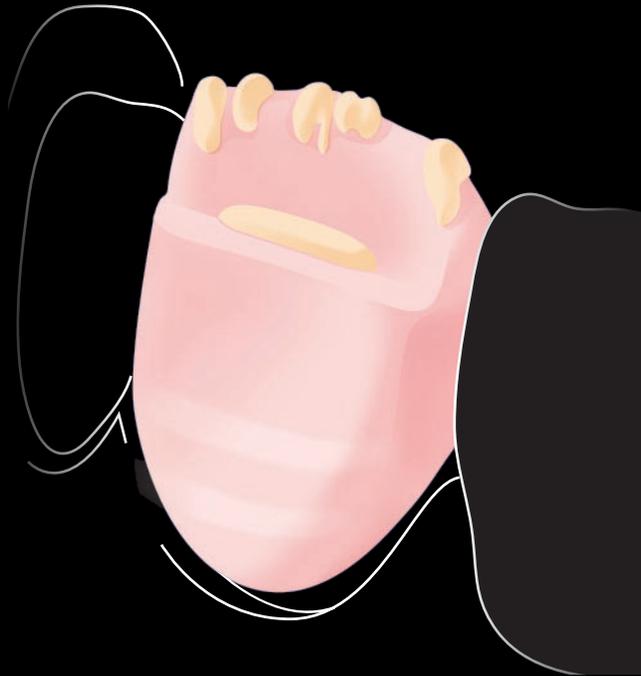
- ・ 通常のカットバックが終了した後、Dentineの歯頸部付近に白帯を付与するため、凹カットバックを行いSnow Whiteを築盛し、さらにDentineにて挟みこみ築盛を行います
- ・ 白帯を弱めたい場合はEnamelを、逆に白帯を強めたい場合はWhiteを適量混合して使用します。

ACCENT.

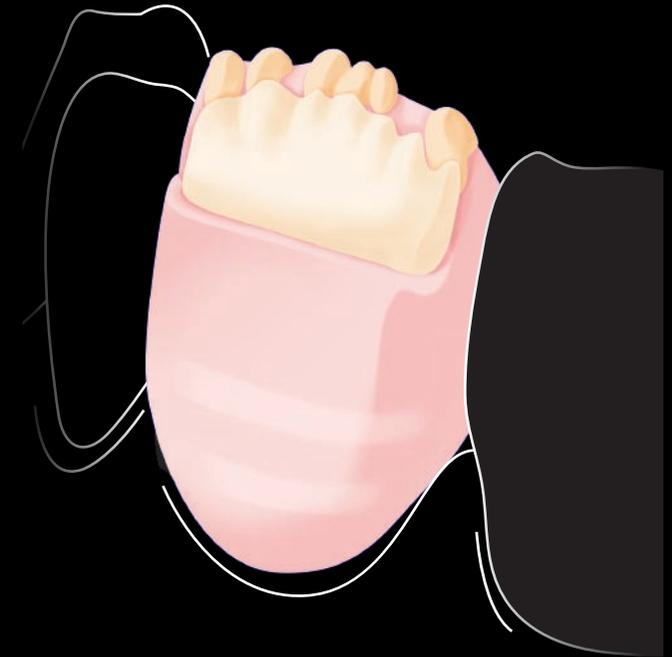
STEP.3



- Opaque
- Dentine



- Opaque
- Dentine
- Mamelon-Orange



- Dentine
- Mamelon-Orange
- Mamelon-Vanilla

STEP.3



Mamelon Accent

STEP.3

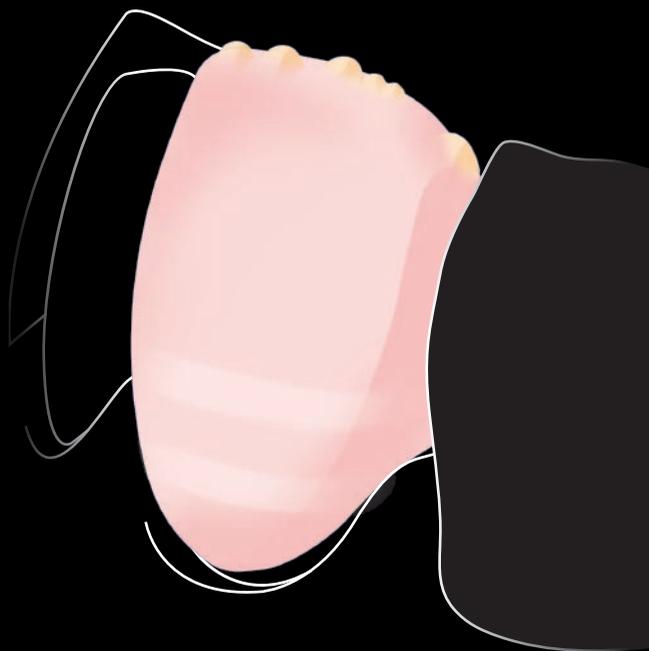
・切縁側のDentineをセカンドカットバックし、マメロンの先端部分へMamelon-Orangeを築盛し、次にMamelon-Vanillaを薄く築盛します。

※セカンドカットバック時に、オパークが見えても問題ありません。

- ・ Mamelon-Orangeは、天然歯象牙質切縁の不透明層の再現とオパール効果に有効です。
- ・ Mamelon-Vanillaは、天然歯象牙質中心部にある不透明層の表現と切縁部での色調変化に有効です。

ACCENT.

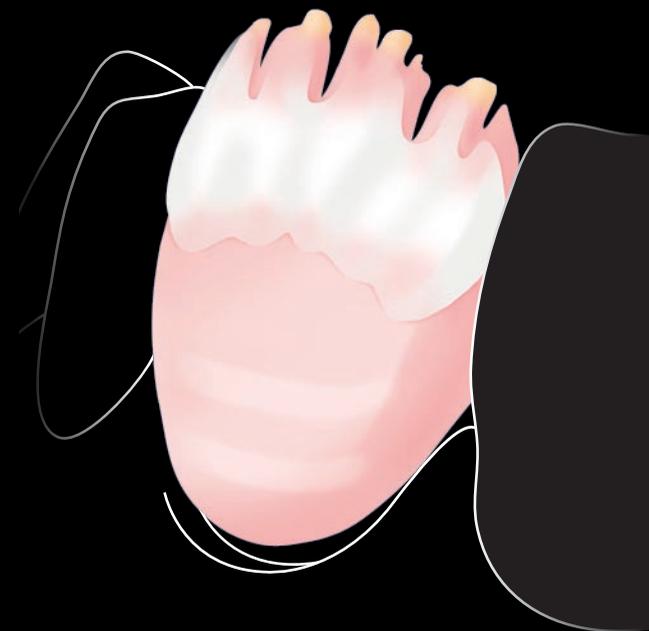
STEP.4



■ Dentine
■ Mamelon-Orange



■ Dentine
■ Mamelon-Orange
■ Snow White



■ Dentine
■ Mamelon-Orange
■ Snow White

STEP.4

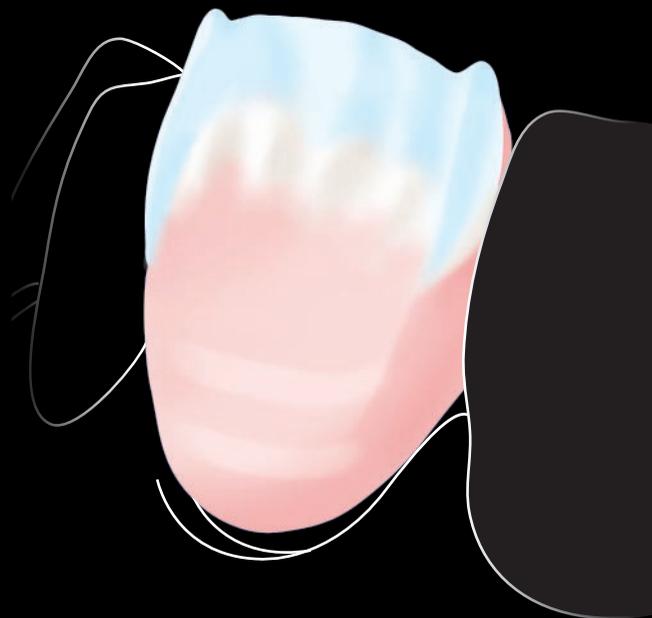


Internal Accent

STEP.4

- ・ Mamelon-Vanillaの上に再度Dentineをカバーし形態を回復します。
明るいエナメル層を表現するためにSnow Whiteを築盛後、最終の象牙質形態にするため、Dentineのマメロン形成を行います。

STEP.5



-  Dentine
-  Snow White
-  Opal 1

Opal Accent

STEP.5

- ・透明層を表現するためにマメロンの先端や谷間に Opal 1を築盛します。

STEP.5



STEP.5



反射光

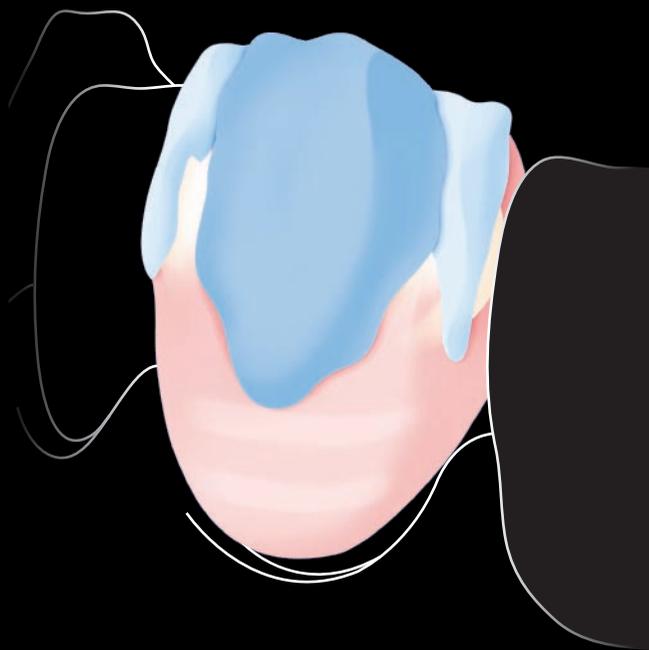


透過光

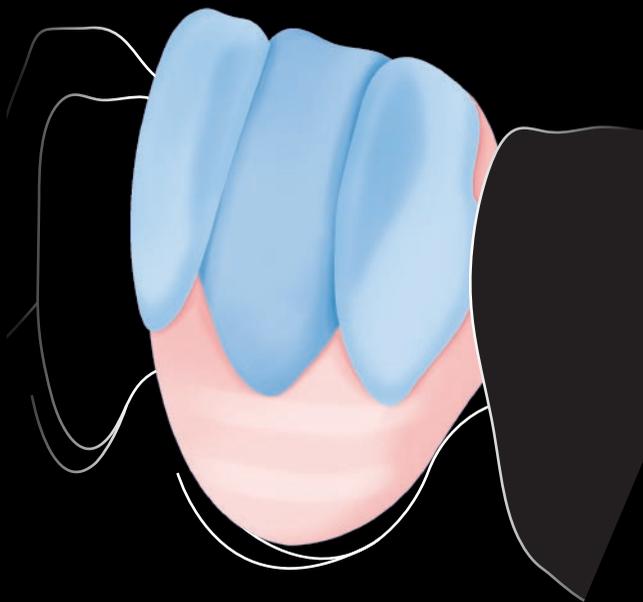
Opalescence

- ・ 反射光では淡いブルー色の、透過光ではオレンジ色のオパール特性を表現することができます。

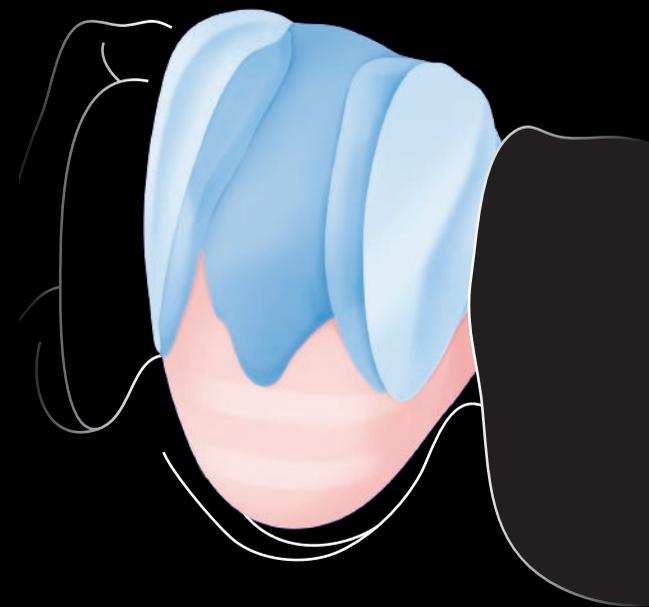
STEP.6



- Dentine
- Opal 1
- E-3

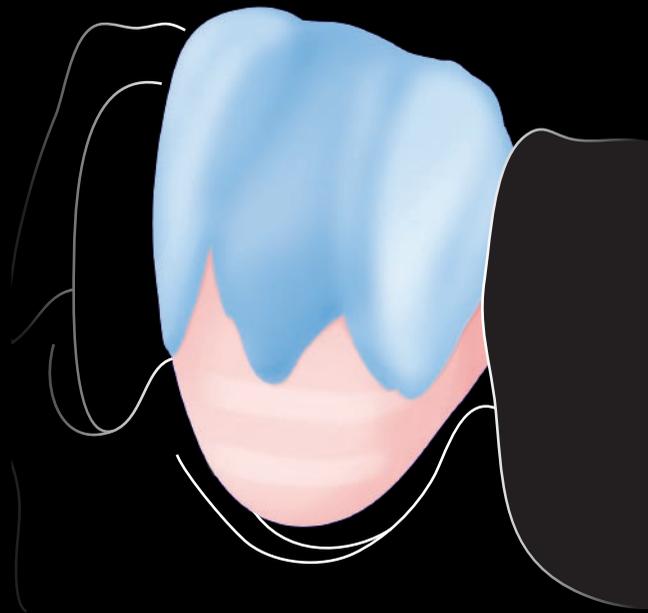


- Dentine
- E-3
- E-2



- Dentine
- E-3
- E-2
- E-1

STEP.6



- Dentine
- E-1
- E-3
- E-2

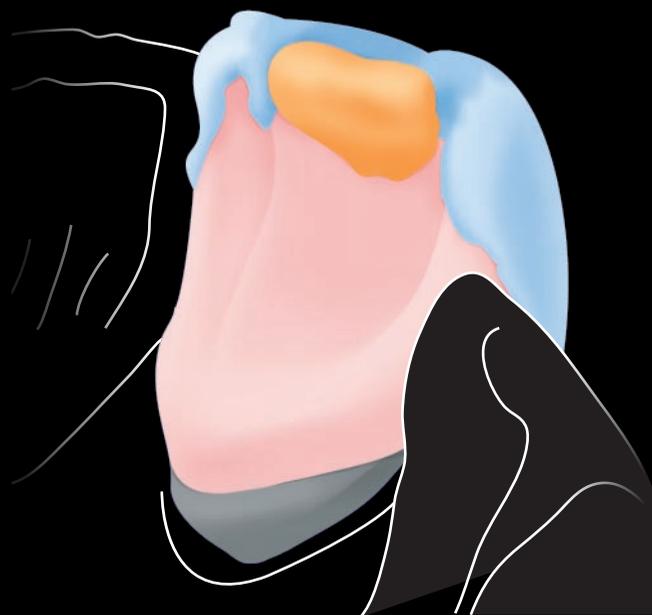
Enamel

STEP.6

- ・エナメル層に透明感の変化を付与するために、明度・彩度の異なった3種類のEnamelを使用します。
ベースのエナメル色がE-2またはE-1の色調の場合は、透明度の異なる白色系のSnow White及びWhiteを使用し、エナメルの透明感を表現します。



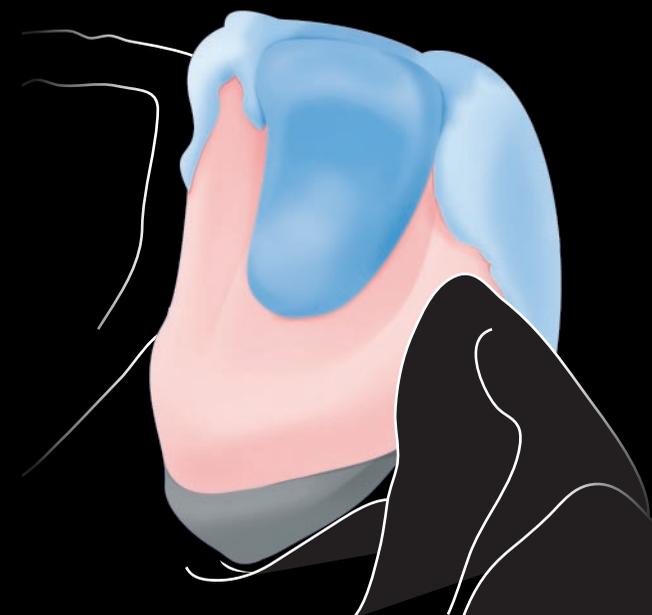
STEP.7



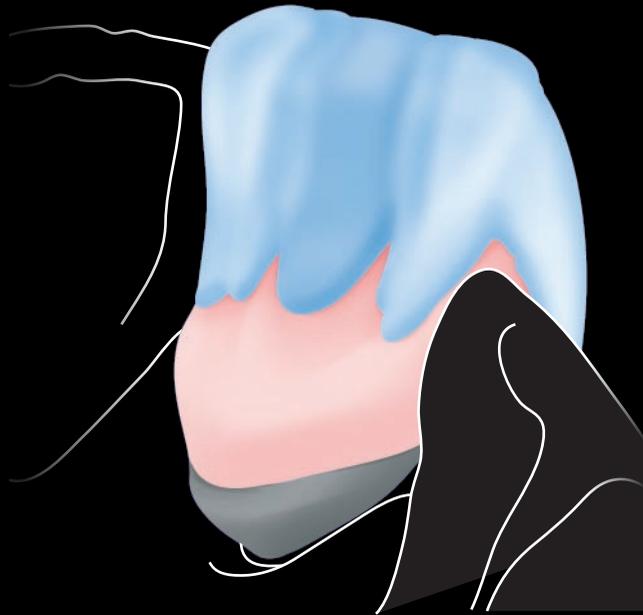
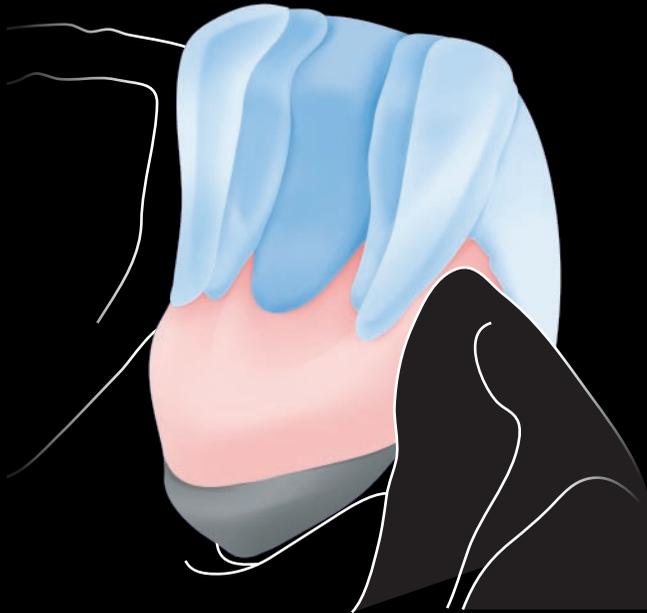
Internal Orange Accent

STEP.7

- ・T-Amberを舌側の先端中央部に飴色の表現として使用します。その上に唇側と同じく、明度・彩度のグラデーション効果を出すために、3種類のEnamelを築盛します。T-Amberは、T-Bufferよりも鮮やかなオレンジ系透明色で、前歯部、臼歯部のオレンジ系透明色の表現に使用します。



STEP.7



Dentine E-1
E-3
E-2

Dentine E-1
E-3
E-2

これらのアクセント陶材を使用することで、天然歯と同様の色調表現が可能となります。





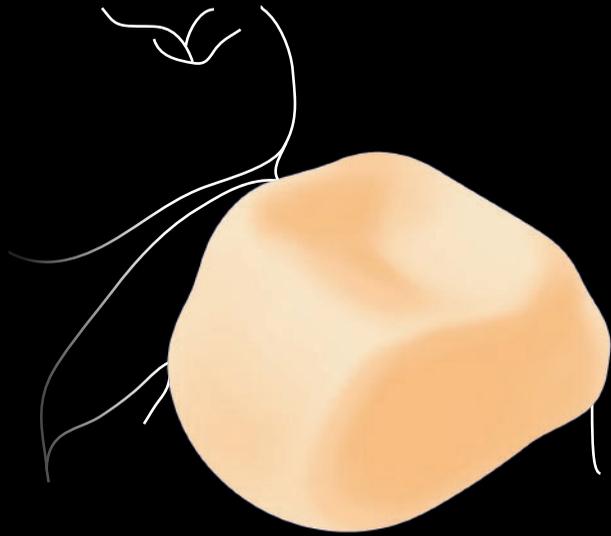
Finished Goods



ACCENT.



STEP.1



■ Opaque



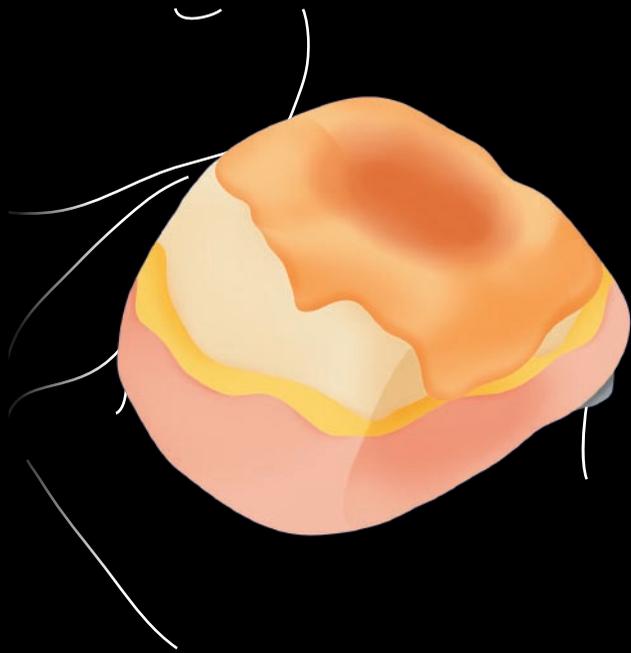
■ Opaque
■ Opaque Dentine

STEP.2



■ Opaque
■ Opaque Dentine
■ T-Salmon
■ Occlusal-Brown

STEP.2



Internal Accent

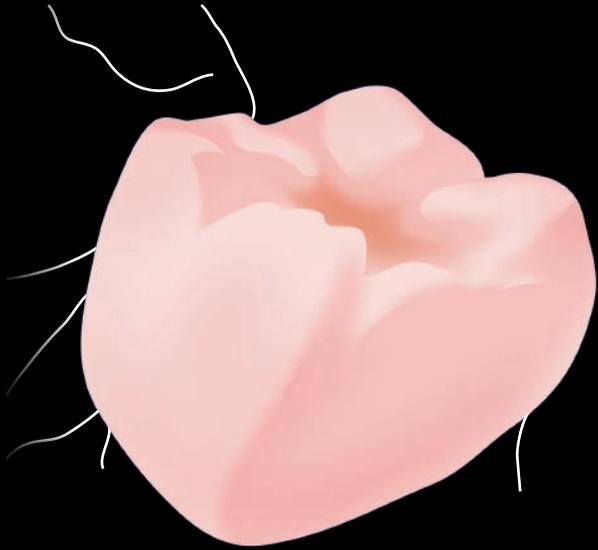
STEP.2

・ 歯頸部側にT-Salmonを築盛し、咬合面中心部にOcclusal-Brown、咬合面全体に下地色としてOcclusal-Orangeを重ねて使用します。



- | | |
|---|---|
|  Opaque |  Occlusal-Brown |
|  Opaque Dentine |  Occlusal-Orange |
|  T-Salmon | |

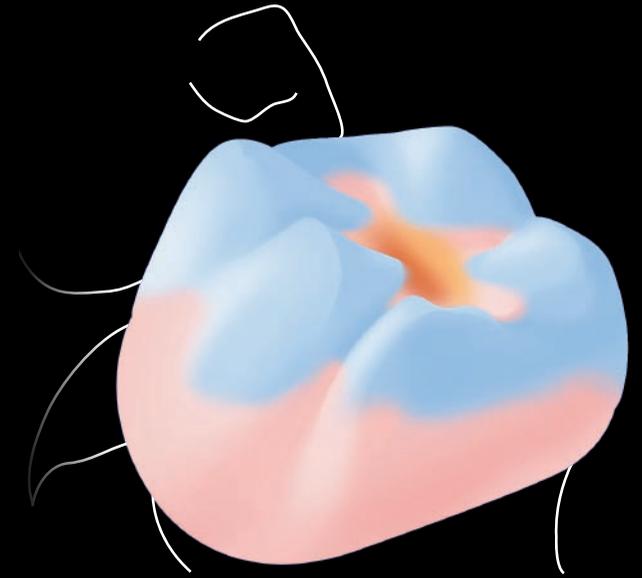
STEP.3



■ Dentine



■ Dentine Cut Back



■ Dentine
■ Enamel

STEP.3

Enamel

STEP.3

- ・ Dentinelにて形態を回復後カットバックを行い、咬合面中心部を避けてEnamelを築盛します。



STEP.4



-  Dentine
-  Enamel
-  Occlusal-Enamel

Occlusal-Enamel Accent

STEP.4

- ・Occlusal-Enamelは、臼歯咬合面特有のオレンジ系エナメル色の表現に有効です。築盛では、中心窩付近から、咬頭頂に向けて移行的に築盛します。

STEP.4



STEP.5



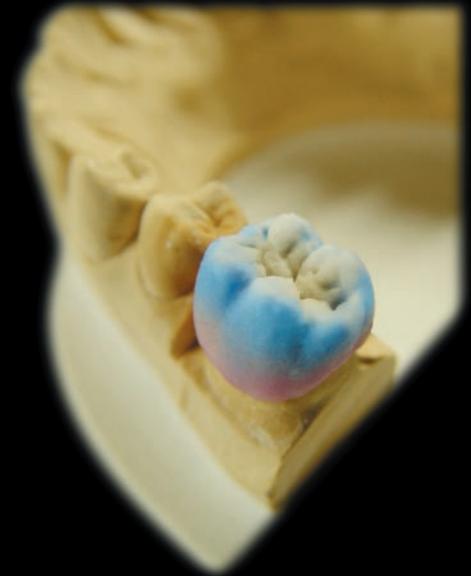
- Dentine
- Enamel
- Occlusal-Enamel
- Snow White

White Accent

STEP.5

・咬合面隆線に観られるホワイトティッシュ色の表現にSnow Whiteを使用します。

STEP.5



これらのアクセント陶材を使用することで、生命感あふれる白歯の色調を表現することが可能です。





Finished Goods



ACCENT.

ACCENT.

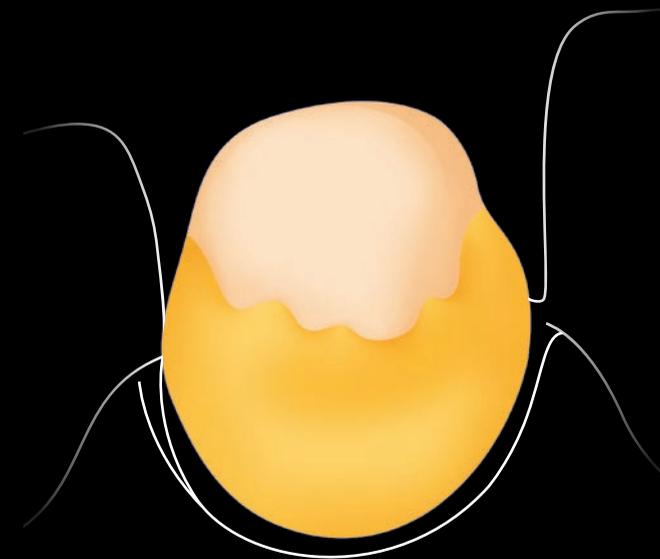
STEP.1



STEP.1 Cervical Accent

・陶材の築盛層が薄い歯頸部付近の彩度補足に使用します。

STEP.1



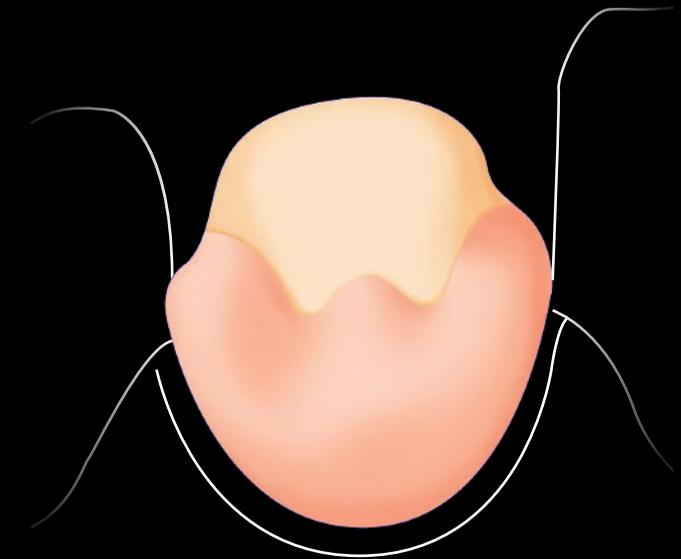
■ Opaque

■ Opaque Dentine

STEP.2



STEP.2



STEP.2 Cervical Accent

- ・ T-Salmonを歯頸部に一層築盛し、歯頸部付近の赤味のある透明感を表現します。

■ Opaque
■ T-Salmon

ACCENT.

STEP.3

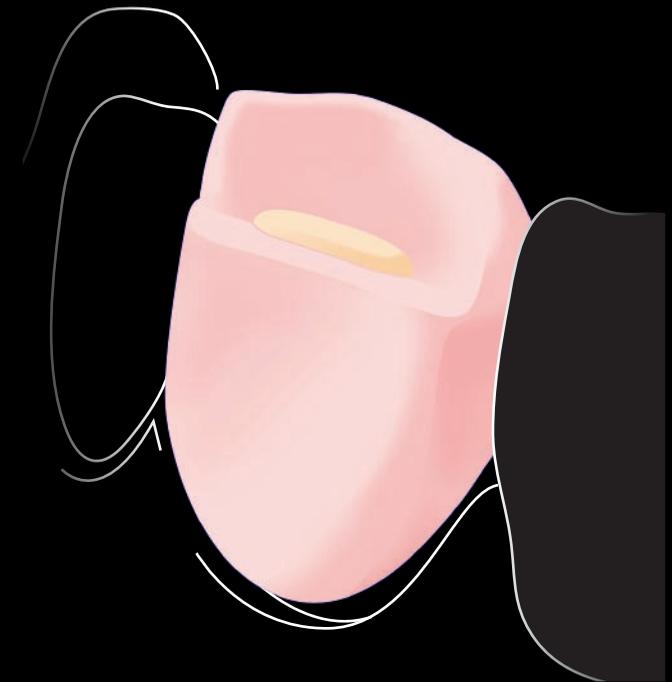


Cut Back

STEP.3

- ・ Dentineにて歯冠形態を回復し、エナメル層を築盛するための表層カットバックを行った後、不透明層表現のために先端部に垂直カットバックを行います。

STEP.3



■ Opaque
■ Dentine

ACCENT.

STEP.4

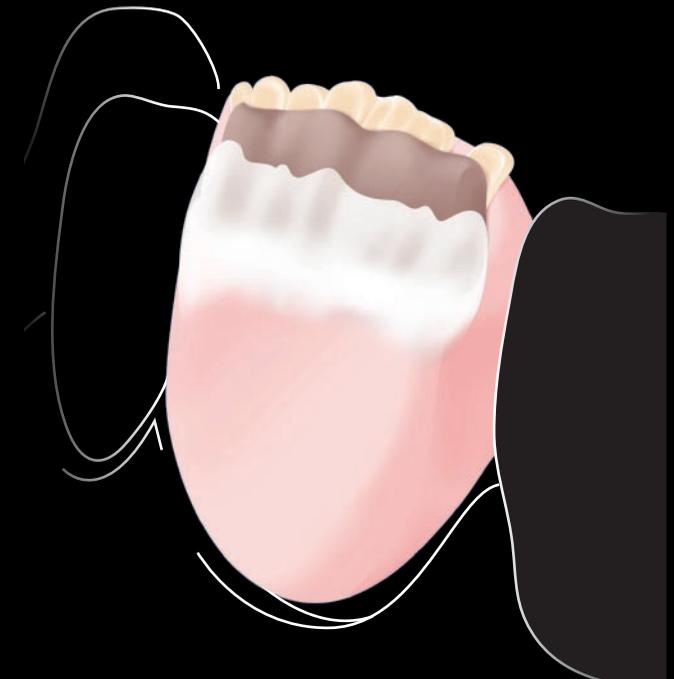


Internal Accent

STEP.4 老年代の切縁部に見られる不透明層・透明層・明度の高い層を表現

- ・切縁部にオレンジ系不透明層を表現するためMamelon-Orange:Mamelon-Vanilla(1:1)にて混合、築盛を行います。
- ・次にグレー系の透明層を表現するためT-Gray:T-Amber(1:1)にてマメロン部を覆います。
- ・最後にSnow White:White(3:1)にてホワイトティッシュな明度の高い層を表現します。

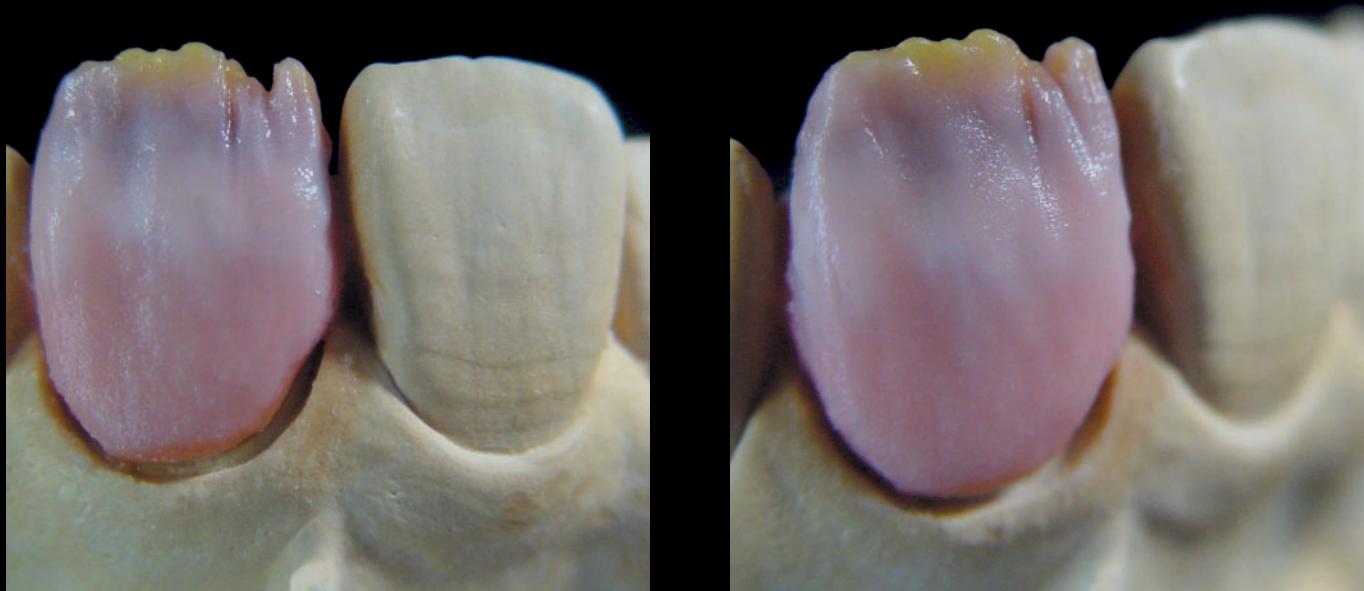
STEP.4



- Dentine
- Snow White+White
- Mamelon-Orange+Mamelon-Vanilla
- T-Gray+T-Amber

ACCENT.

STEP.5

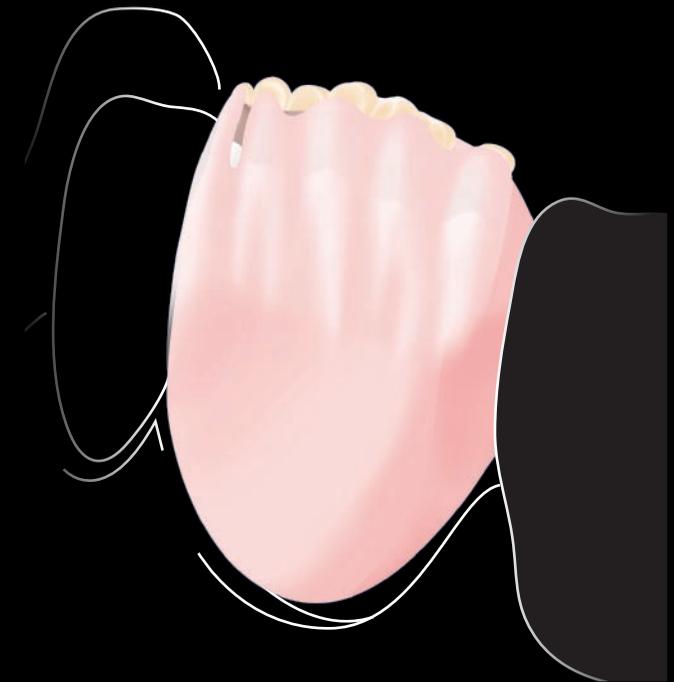


Dentine Shape

STEP.5

- ・切縁部にDentine:T-Clear (1:3)にて混合した透明度の高いDentineを使用し、STEP4のInternal Accentを覆い、象牙質形態を形成します。

STEP.5



- Dentine
- Dentine+T-Clear
- Mamelon-Orange+Mamelon-Vanilla
- T-Gray+T-Amber

STEP.6

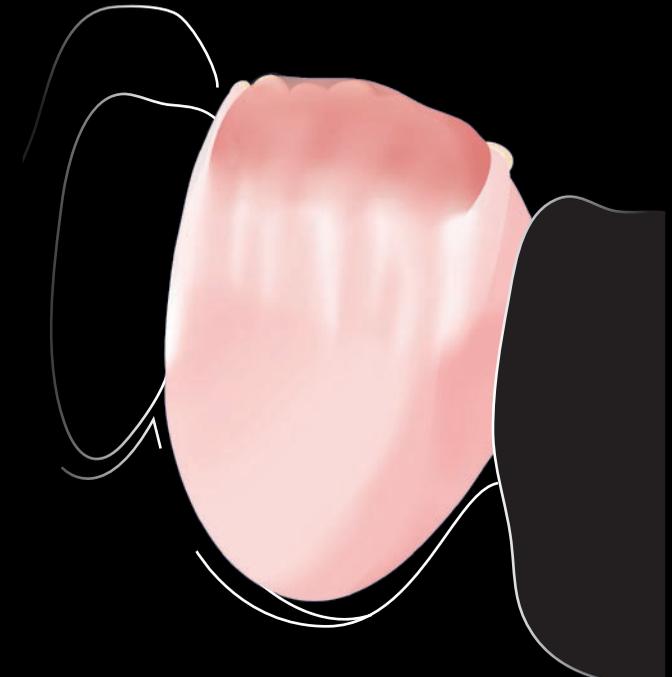


Opal Translucent

STEP.6

・切縁部分の鉛色な透明感を表現するため、Opal Amberを築盛します。

STEP.6



- Dentine
- Opal Amber
- Mamelon-Orange+Mamelon-Vanilla
- Dentine+T-Clear

STEP.7

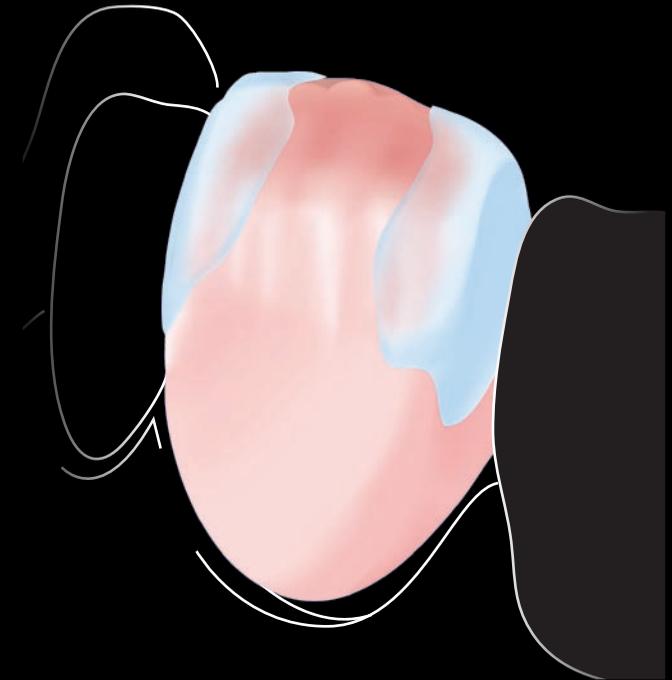


Opal 1

STEP.7

・ 歯冠両隣接のブルー系透明層の表現をするために Opal 1 を築盛します。

STEP.7



■ Dentine

■ Opal 1

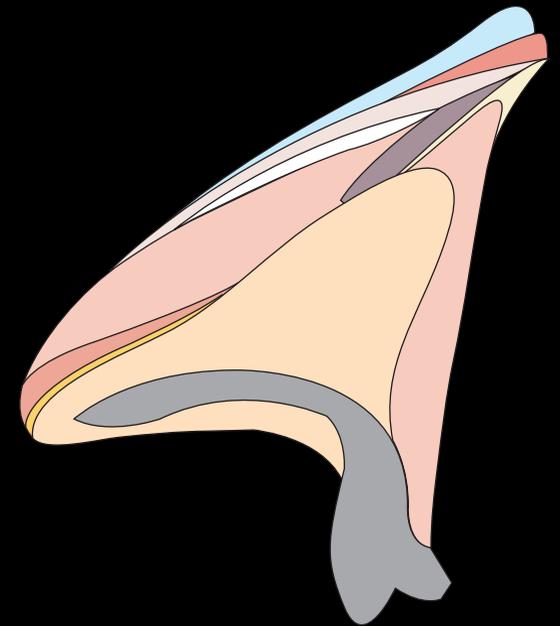
■ Dentine+T-Clear

■ Opal Amber

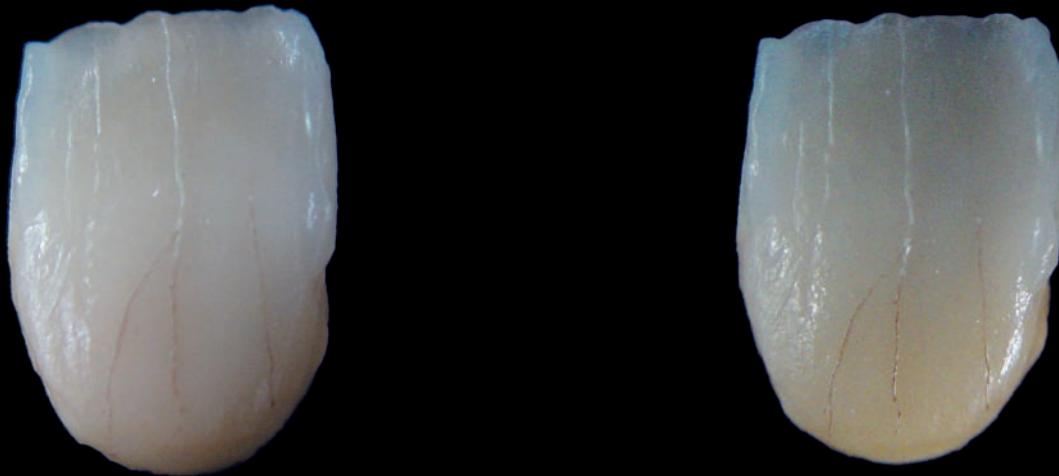
ACCENT.



- Opaque
- Opaque Dentine
- T-Salmon
- T-Gray+T-Amber
- Mamelon-Orange+Mamelon-Vanilla
- Dentine
- Snow White
- Dentine+T-Clear
- Opal Amber
- Opal 1



STEP.8



SPRING OUT Stain

STEP.8 内部のステイニング

- ・ 歯頸、隣接部の彩度を上げるためStain Orange, Light Orange, Brownを使用します。
- ・ クラック表現にはStain Milkyを使用します。
- ・ ヘアライン表現にはStain Dark Brownを使用します

ACCENT.

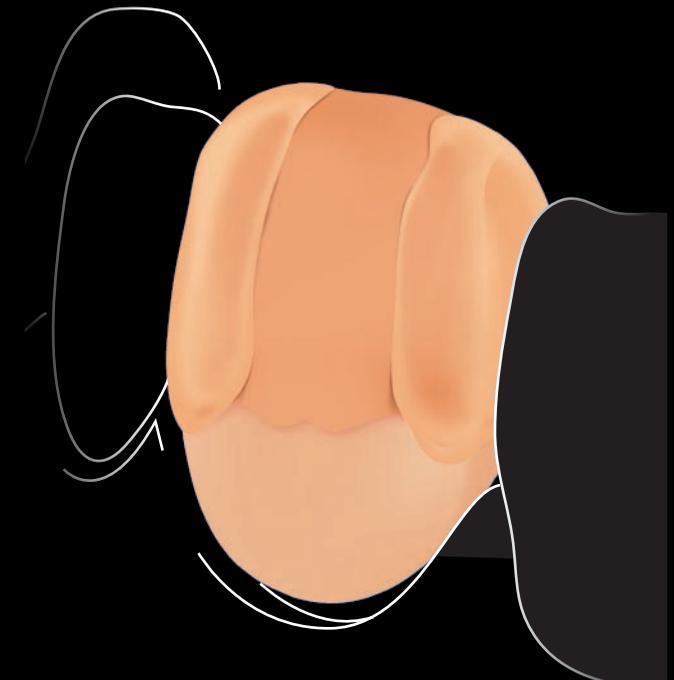
STEP.9



STEP.9

STEP.9 老年代エナメル質特有の鉛色系グラデーション

- ・ 歯頸部方向への鉛色系透明観のグラデーション表現としてT-Buffer:T-Clearを使用します。
 - ・ 切縁中央部には、Opal-Enamel E-3:Opal Amber (3:1)を使用します。
 - ・ 切縁部の隣接方向への鉛色系エナメル色のグラデーション表現として、Opal-Enamel E-2:Opal Amber (3:1)を使用します。
- ※混合比は床例によって異なります。



- 透明系Dentine (T-Buffer+T-Clear)
- Amber系 Enamel
- Amber系 Enamel (薄)



Finished Goods



製造販売元 **YAMAKIN株式会社**

〒781-5451 高知県香南市香我美町上分字大谷1090-3

本社：〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町3番7号
東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・高知：生体科学安全研究室
<http://www.yamakin-gold.co.jp>

● 製品に関するお問い合わせはこちら

テクニカルサポート  **0120-39-4929** サンキューヨクツク (9:00~17:00)

営本20110513
20170707W